

人材力の強化

多様な人材の確保と育成

JFE グループは、全ての人材がその能力を最大限発揮できる環境を整え、第5次中期経営計画を推進していくため、「JFE グループ人材マネジメント基本方針」を2015年4月に制定しました。また、2016年9月には、安全で魅力に富み、働きがいのある職場の実現と、多様な人材がその能力を最大限に発揮できる環境の整備を強力に推進するため、「JFE グループ健康宣言」を制定しました。

JFE グループ人材マネジメント基本方針

- ① 人権の尊重と公平・公正な人材マネジメントの推進**
すべての社員の人権を尊重するとともに、JFE グループ行動規範、企業行動指針の精神を実現する人材を育成し、公平・公正な人材マネジメントを行う。
- ② 「人を育てる企業風土」の醸成と「働きがいのある職場」の構築**
双方向のコミュニケーションの充実により、風通しの良い、人を育てる企業風土を醸成し、安全で魅力に富み、働きがいのある職場環境を構築する。
- ③ ダイバーシティの推進**
女性・外国人・高齢者・障がい者等を含めた多様な人材が、その能力を最大限に発揮し活躍できる環境を整える。
- ④ 優秀な人材の確保および育成の着実な実施**
複雑化・多様化する変化の激しい経営環境のもと、グローバル競争を勝ち抜くため、多様かつ優秀な人材を安定的に採用し、技術力・現場力の強化に必要な技術・技能の蓄積と伝承、グローバル人材の育成を着実に実施する。

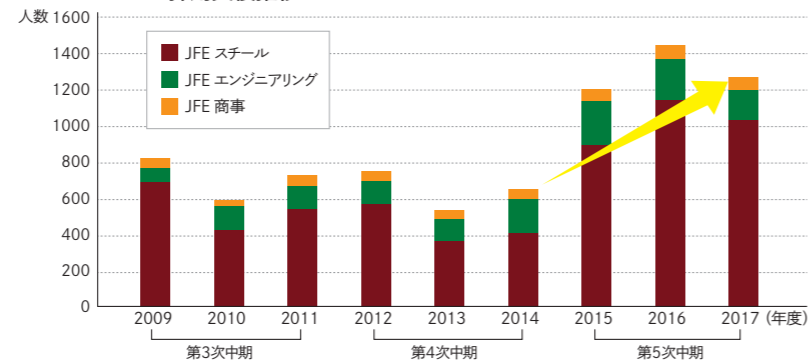
JFE グループ健康宣言

- ① 企業理念の実現のためには、社員一人ひとりの安全と健康は欠くことができないという認識のもと、すべての社員がいきいきと働くことができる職場を実現していきます。**
- ② 会社と健康保険組合が一体となって、社員とその家族の心と身体の健康保持・増進に向けたあらゆる段組みを進めていきます。**
- ③ 安全と健康を最優先する意識の醸成を図り、社員一人ひとりが自立的に活動を実践する健康文化を構築していきます。**

多様な人材の確保

JFE グループの持続的成長を図り、グローバル競争を勝ち抜くため、優秀な人材を安定的に採用してきました。採用ソースも多様化し、女性・外国籍従業員の採用および中途・通年採用も積極的に実施しています。

■ JFE グループ採用実績推移



人材の育成

JFE グループは、製造基盤整備や海外事業展開などの経営課題に対応するため、「人材の育成」を最重要施策のひとつと位置付け、様々な取り組みを推進しています。



人材育成と技能伝承

JFE グループでは、従業員一人ひとりの能力向上と、従業員の大幅な世代交代に対応した技能伝承に重点を置き、グループの総力を挙げて人材の育成に取り組んでいます。

◆グループ各社における主な取り組み

JFE スチール

技能評価システムリフレッシュによる技能データ活用の推進

製造現場における技能評価システムをリフレッシュし、定量的な技能レベルを効果的に分析・活用。非正常作業など技能レベルが相対的に低い技能に対し、熟練技能を有する専任講師(テクニカルエキスパート)が集中的に実地指導を行うなど、集積した技能データと有機的に連動した教育を図っています。

JFE エンジニアリング

自主選択型の制度と研修で潜在能力を覚醒

社内公募によって希望する仕事に就ける「ジョブチャレンジ制度」を導入し、各従業員がもつ潜在能力の顕在化を図っています。また、場所・時間を選ばず、社員それぞれが自分のニーズにあわせて自主的に研修できる選択型オンライン研修を積極導入。階層別や語学など幅広い人材育成に活用しています。

JFE 商事

コミュニケーションスキル研修の強化

コミュニケーションスキルの向上・強化を目的として、相手に伝わる手法を学ぶ「クリティカルシンキング研修」や、商談や会議を円滑に遂行させる「ファシリテーション・ネゴシエーション研修」を実施しています。

グローバル人材の育成

海外事業の拡大を推進し、複雑化・多様化するグローバル競争を勝ち抜くために、グローバル人材の育成は必要不可欠です。外国籍の総合職従業員および海外現地スタッフの採用・育成を強化していくとともに、日本人の従業員に対する海外留学・研修の充実だけでなく、若手従業員を積極的に海外派遣することによって実務経験を通じた人材育成を進めています。

■ 各社の主なグローバル人材育成制度

項目	事業会社		
	S	E	T
海外留学制度	●	●	●
短期海外語学研修	●	●	●
若手社員海外派遣	●	●	●
海外ナショナルスタッフ研修制度	●	●	●
海外学生インターンシップ	●	●	

S:JFE スチール E:JFE エンジニアリング T:JFE 商事



ダイバーシティの取り組み

JFE グループは、ダイバーシティ推進を重要な経営課題のひとつと位置付けています。女性や外国人、異なるライフスタイルや家庭状況など、多様な背景を持つ従業員の能力を最大限に引き出すための環境整備を推進しています。



女性活躍推進

各社のダイバーシティ推進室を中心に、女性従業員の積極的な採用や女性の活躍を推進する様々な施策を導入しています。さらに女性の活躍を着実に推進するため、JFE グループとして2020年には女性管理職の人数を2014年度比で3倍とする目標を設定しています。

■女性管理職数推移と目標

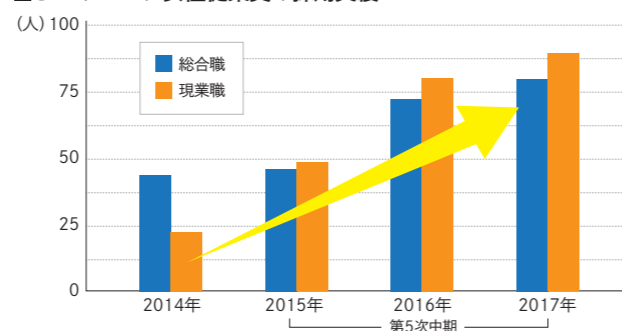


◆製造現場における女性活躍推進

総合職だけでなく、製造現場における女性の採用も積極的に推進し、女性が働きやすい職場環境の整備に加えて、現場の作業環境や工具の改善を行い活躍領域の拡大も進めています。また個人のライフスタイルと会社生活を両立できるよう、法定を上回る両立支援制度の充実や企業内保育所(JFE エンジニアリング「JFE 保育園 こどもの森」、JFE スチール「うみかぜ南町保育園」)の設置など、様々な施策を展開しています。



■ JFE グループ女性従業員の採用実績



◆キャリア研修の取り組み

JFE スチール

女性従業員のキャリア意識の醸成を促す研修を実施するとともに、積極的な管理職への登用や配置領域の拡大を図っています。また上司向けには、育児などを行いながら働く従業員のマネジメントに関する研修を実施し、キャリア形成とライフイベントの両立を実現するための施策を拡充しています。

JFE エンジニアリング

採用活動にあたっては、異業種経験者など多様な個性や価値観を持つ人材を積極的に実施。女性活躍推進に関しても、人事制度による業務別の従業員区分を廃止し、女性従業員のキャリアアップを積極的に進めています。

JFE 商事

「性別や国籍など属性にとらわれない多様な人材の活用と多様な働き方」を推進しており、女性従業員の管理職への積極的な登用や職域拡大、職掌転換で活躍の場を拡大するとともに、育成プログラムの充実などでキャリア開発を支援しています。

働き方改革の推進

少子高齢化が進み労働力人口の減少が見込まれる中、一層の女性従業員の活躍支援、社員ニーズの多様化といった様々な経営課題に取り組むためには、これまでの働き方を抜本的に見直し、高い生産性で新たな価値を創造しながら、従業員一人ひとりが仕事に誇りと働きがいを感じられる働き方の実現が不可欠です。各社において、システム化の推進、ITツールの活用を中心とした業務改革に加えて、ワーク・ライフ・バランスの推進など、より柔軟な働き方の実現に向けて、様々な取り組みを推進・展開しています。

◆グループ各社の主な取り組み

JFE スチール

製造基盤整備や海外展開などの経営課題への対応や、働き方に対する社員ニーズの多様化などの課題への取り組みをさらに加速すべく、2017年を「ワークスタイル変革元年」と位置付け、新たな施策を始めました。ワークスタイルの変革を進めることで、多様な人材がその能力を最大限に発揮できる組織風土をつくり上げていきます。

- ① 個人別定時退社日の設定
- ② 勤務間インターバルのトライアル
- ③ 年次有給休暇の取得促進
- ④ 在宅勤務制度のトライアル
- ⑤ 男性の育児休業取得促進

JFE エンジニアリング

「早く出社して早く帰る」風土醸成のため、就業時間を8時から16時45分とし、20時以降の残業を原則禁止。また、あらかじめ上司と休みの計画を作成する「働き方計画表」の活用や、有給取得奨励日・定時退社日の設定などを推進しています。さらにシステム化を中心とした「SUPER SHAPE-UP」活動で業務改革を進めています。柔軟な働き方を可能とする制度としては、2017年4月にテレワーク制度を導入。在宅勤務に加えて、新横浜にサテライトオフィスを開設し、トライアル運用を開始しました。

JFE 商事

「Change of Work Time(ワークタイムの変化)」として、毎週水曜日の定時退社デーや22時以降の深夜就業を禁止することで、時間外労働の削減に努めています。また、年次有給休暇の取得促進、2016年4月から、コアタイムを11時～14時としたフレックスタイムの拡充、育児・介護など時間的制約がある社員に対し、在宅勤務制度のトライアルを実施するなど、多様な働き方への取り組みも強化しています。

項目	事業会社		
	S	E	T
フレックスタイム制の導入	●	●	●
年休取得奨励日の設定	●	●	●
定時退社の促進	●	●	●
在宅勤務トライアル	●	●	●
サテライトオフィス勤務トライアル		●	



なでしこ銘柄に選定

グループ各社による女性活躍推進の取り組みが評価され、経済産業省と東京証券取引所が共同で女性活躍に優れた企業として投資家に紹介する「なでしこ銘柄」に選定されました。当社の同銘柄選定は、2年ぶり3回目となります。

